

## 丸山景右の いい家を建てる!

プロが教える雨楽な家づくりの極意

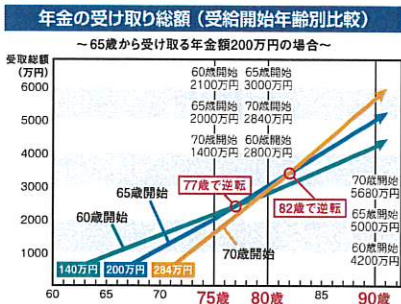


丸山 景右(まゐりやま けいすけ)  
株式会社 リック 代表取締役

### 「老後2000万円不足問題で年金不信ひろがる」

金融庁が「人生100年時代」に備え6月にまとめた報告書が波紋を呼んでいます。高齢の無職世帯では65歳から95歳まで生きた場合、2000万円不足すると試算。人生のステージ別に資産運用の心構えを説きました。少子高齢化による公的年金制度の限界を自ら認め、国民の「自助努力」を求めたものです。この報告書は老後に向けた資産形成を促す狙いで、極めて常識的な内容ですが、「老後2000万円不足」が一人歩きして誤解を招き、年金不信問題に発展。野党は政府を追及し、麻生金融相は正式な受け取りを拒否して火消しに躍起。「隠しておきたかった真実が露呈し右往左往している政府」の姿勢に国民の批判が集中。3000万円不足との試算もあり、現役世代に将来の年金受給への不安感が広がっています。

「自助努力で老後に備える」ために、年金以外で2000万円を確保するにはどうすればよいか、その答えの一つが「年金の繰り下げ受給」です。老齢年金の受給は原則65歳から。「繰り上げ受給」を選択すれば60歳から受け取れますが、受取額は年に30%も減額されます。逆に受給開始を70歳に遅らせる「繰り下げ受給」を選択すれば、受取額は年に42%も増え、



長生きするほど受取総額は拡大していきます。

グラフは65歳から受け取る年金額を200万円と仮定し、年金の受給開始を60歳、65歳、70歳とした場合の受取総額を提示。例えば、60歳受給開始の場合の総額は、77歳で65歳受給開始の総額に逆転され、65歳受給開始の場合の総額は、82歳で70歳受給開始の総額に逆転されます。長生きできるなら受給開始を遅らせたほうが得という結論です。

たとえ65歳で定年退職を迎えても、健康で働ける間は共働きで働き、年金に頼らず自助努力で収入を得る姿勢が大切。政府は70歳まで働きたいすべての人が働けるように、企業に対し、高齢者の雇用機会をつくるよう努力義務を課す方針を打ち出しました。健康で働ける間は働いて税金を納め、社会に貢献することが「人生100年時代」のベースになります。

# URAC



雨楽な家

特集

## 縁側から広がる 豊かな暮らし

### contents

- 今月の「雨楽な家」 宮崎県・N様邸
- 丸山景右の「いい家を建てる」 vol.27 「老後2000万円不足問題で年金不信ひろがる」
- Topics +住宅用消火器・金平糖つまみ・ウッドリフレッシャー

## Topics

今月の気になるものをご紹介



### 新防災デザイン「+住宅用消火器」

「防災をライフスタイルに。」をコンセプトに誕生した「+mafi」ブランドの消火器です。マフ調の白や黒で塗装され、とてもおしゃれ。ステッカーを貼った油性ペンで絵を書いてわが家流にカスタマイズすることもできます。古い消火器の使用期限を確認して買い換えてみては? 販売元: モリタ富田工業株式会社  
公式ホームページ <http://www.moritamiyata.com>



### 小さな遊びココロ「金平糖つまみ」

金属ならではの経年変化の趣を楽しめる真鍮製のつまみは、鍛造で生産され、ひとつひとつ手仕事で丁寧に仕上げられています。お菓子の金平糖とほぼ同じ15mmのミニサイズなので、軽めの収納扉や家具の引き出しなどに、ちょこっと遊びココロをどうぞ。販売元: 株式会社 TOOLBOX  
公式ホームページ <http://www.r-toolbox.jp>



### 木の洗浄・除菌剤「ウッドリフレッシャー」

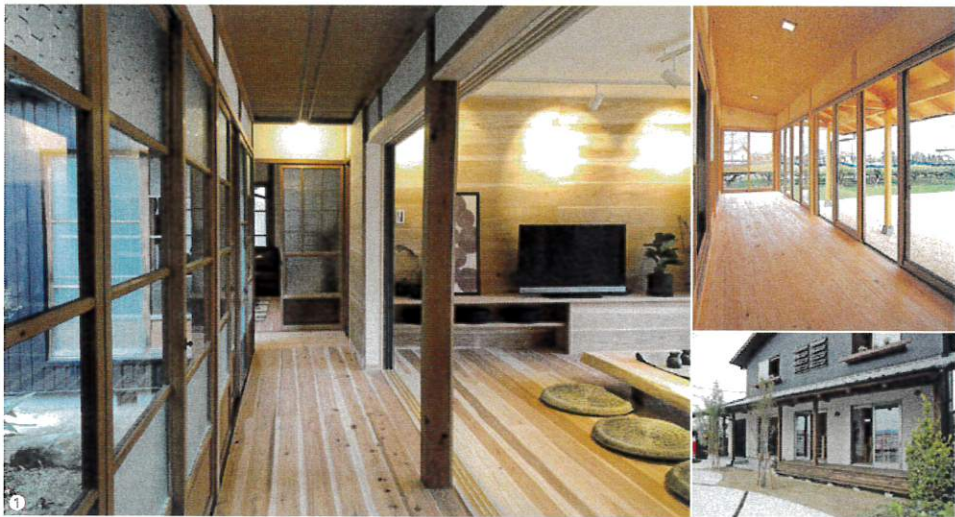
ウッドデザイン賞2018技術・研究分野で受賞した木製品用の洗浄・除菌剤です。指定化学物質はもちろん、溶剤成分や石油系界面活性剤を含まないので安全で安心。無塗装の木のおもちゃや家具・建具の手振、床の靴跡など取れにくい汚れを落とすのに効果的です。販売元: 一場木工所  
公式ホームページ <https://hinatabokko.shop-pro.jp>

発行元

雨楽な家 株式会社 <http://urac.ne.jp>

株式会社 リック  
 広島本社 〒733-0863 広島市西区草津南3-7-21 R1Cビル  
 中部営業部 〒481-0041 北名古屋市九之坪北浦37-1  
 四国営業部 〒790-0941 愛媛県松山市和泉南1-13-30-14  
 子育て支援ステーション ニッセ 〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町1220-4

# 縁側から広がる豊かな暮らし



## 涼しい居場所を夏を楽しむ

家の中に涼風が通り抜けるうれしい瞬間。障子や引き戸を開けて、土間や中庭、吹抜け、縁側・ウッドデッキで「端居(はしい)」を楽しみませんか。「端居」とは夏の季語で「縁側など風通しの良い家の端に居ること」をいいます。無垢の縁板の感触を素足で味わい、庭を眺めたり読書したり家事をこなしながら端居を楽しむ…。昔ながらの縁側で過ごす、この贅沢なひとときに憧れる人は多いのではないでしょうか。

## 残したい日本の家の魅力。縁側から結ぶ「縁」

縁側は家の縁に造られた板敷きスペースのこと。日本建築は本来、外に対して開かれていて、縁側は内と外を無理なく融合させる、なくてはならない存在でした。動線経路としての機能だけではなく、雨・風・日差しなどの自然現象に対し、室内との柔らかなクッションの役割をはたします。部屋の開口部を開け放せば、多目的に使えるあいまさいという魅力は、住む人に癒しや安らぎを与えてくれます。

ライフスタイルが変化する時代に、日本の家ならではの縁側は過去の遺物となってしまったかのようです。

一昔前の縁側は、家庭の特別な行事において出入口として使われていました。伴侶は沓脱石で草履を脱ぎ、縁側から上がって縁側から帰りました。婚礼の日に「出戻らないように」と、花嫁は生家の縁側から出立し、嫁ぎ先で縁側から入る、という習慣もありました。訪れた人を気軽に迎え、もてなす場としても便利でした。

縁側は人と人、人と自然との縁をつなぐ場所。そこから広がる豊かな暮らしとともに、後世に残したい日本家屋のしつらえのひとつです。



## 縁側をバージョンアップ

縁側は「昭和」を描いた映画やドラマに欠かせないスポットです。風鈴や蚊とり線香がゆれる縁側で、スイカをほおぼる子どもたち。お風呂で汗を流したあと、ビールで夕涼みするお父さん。実家のつろぎシーンによく登場するのが縁側。いま、懐かしい縁側を取り戻したいという人が増えています。

写真(表紙写真と①②)は昭和30年頃に建てられた木の家を「リノベラーク」の技術でリノベーションした事例です。縁側も昭和から令和へとバージョンアップ。床に杉の厚板を張った縁側は、木製建具のガラス越しにやさしい陽光が入り、森林浴もできる日向ぼっこの特等席です。縁側は日本家屋ならではのなごみ空間。チェアを置いて趣味の部屋のように使うのもおすすめ。外の戸を開け閉めすることで、風雨や光など屋外とのつながりを調整でき、四季の変化を楽しめます。

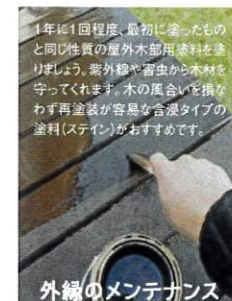
わずかなスペースでありながら、さまざまに活かせる縁側。外と内をつなぐ縁側は、日向ぼっこをしながら家族のコミュニケーションを深め、暮らしにうるおいをもたらしてくれます。

### 縁側の多目的ポイント

- 屋外と屋内との間の緩衝空間
- 家族や友人、近隣の人との社交の場
- 自然と親しみ対話する場所
- 雨が降っても安心の家事スペース
- 幅広い趣味を楽しめる作業場
- 省エネ効果、パッシブソーラーの役割

## 憧れの「縁側」名称いろいろ

縁側	<b>内縁</b> (うちえん) 建物の内側の縁側床面積に含まれる	<b>広縁</b> (ひろえん) 幅の広い内縁、約120cm以上	<b>樽縁</b> (くねえん) 建物に対して平行に縁板を張った縁側	<b>落ち縁</b> (おちえん) 室内床より一段低い縁側
	<b>外縁</b> (そとえん) 建物の外側の縁側床面積に含まれない	<b>入側縁</b> (いりがわえん) 壁柱と入側柱の間内縁	<b>木口縁</b> (こくちえん)・ <b>切り目縁</b> (きりめえん) 建物に対して垂直に縁板を張った縁側	<b>筏縁</b> (いかりえん) 縁板の接手を不規則に配置して張った樽縁
		<b>縁座敷</b> (えんざしき) 畳を敷いた内縁		<b>回り縁</b> (まわりえん) 建物や部屋の方以上にあぐらした縁側
		<b>濡れ縁</b> (ぬれえん) 建物の外側の縁側		<b>土縁</b> (つちえん) 土間上げの縁側
		<b>簀子縁</b> (すいこえん) 雨水が切れるように隙間をあけて縁板を張った外縁		<b>竹縁</b> (たけえん) 竹を並べて張った縁側



## 夏の縁側をより快適にする工夫

家づくりで縁側を考えるときは、四季を通した快適性を得るために、植栽や外構デザインを後回しにせず、間取りとともに敷地全体で計画しましょう。プライバシー確保と防犯対策も忘れずに。東側・北側の縁側：建物の影になる部分が多く春～秋まで快適。北側：真冬以外は快適。北庭の植栽を葉表に正面から眺められる。南側・西側：冬は日当たり良く暖かいが夏は暑い。日除けが必要。

### 陽のあたる方向に落葉樹を

夏の直射日光を遮るため、庭に落葉広葉樹を植えましょう。木陰が心地よい涼をもたしてくれます。冬は葉が落ちて日差しが室内奥まで届きます。



### 適度な深さの軒を設ける

日照角度を考慮した深さの軒を出すことで夏の強い日差しや雨を防いでくれます。冬は太陽が低いので、室内まで日差しが入り暖かく過ごせます。軒を出すことが難しい場合は、庇や簾、オーニング、タープなどでも日除け効果が期待できます。

### グリーンカーテンを作る

日射を遮り赤外線を反射し、さらに蒸散作用によって気温上昇を抑えます。朝顔やゴーヤ、へちまなど育てる楽しみも。



### 風上にビオトープ、打ち水

風上にビオトープなどの水場を作ると、加湿冷却作用で水上を通った空気の温度が下がります。涼風が生まれます。水場がなくても打ち水をすれば、気化冷却により地面の温度を下げる効果があります。



### 虫除け対策を

昔ながらの蚊とり線香をお気に入りの蚊遣器にに入れて、風上で焚きましょう。1つで約6畳の広さをカバーできます。

## 今月の「雨あなごころ」 宮崎県・N様邸

### 緑の庭とひと続き 深い軒と広い縁側で 夕涼みを楽しむ家



ゆったりとした敷地の南と東に大きく庭をとった暮らしやすい平家。キッチンを中心に家事動線をまとめ、必要箇所につぶりの収納を設けています。ウッドデッキから緑豊かな庭とつながる、自然とのふれあいを大切にプランです。

引き戸を開けると和室とつながり、さらに広々とした開放感が生まれます。



夕涼みに日向ぼっこ。庭と縁やかにつながる縁側は、わが家の第二リビングです。



シャープな印象の外壁に二層に違なる和瓦屋根が落ち着きと趣を加えています。

